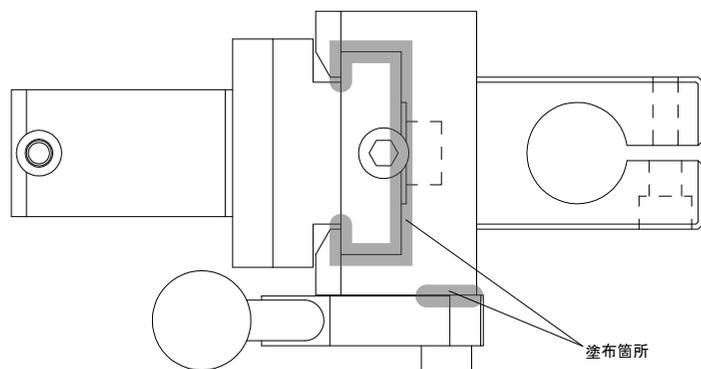


6. メンテナンス

定期的に図9に示した箇所へ潤滑剤を塗布して、レバーの操作性を保って下さい。



[図9：塗布箇所]

- ベースプレートの寸法・・・200 (W) × 200 (D) × 22 (H) mm
- 支柱の高さ・・・・・・・・・・245mm
- 重量・・・・・・・・・・・・・・6kg

ミニモ株式会社

本社 〒130-0026 東京都墨田区両国3-21-1 ☎03-6630-5800 FAX 03-6630-5795
大阪営業所 〒550-0013 大阪市西区新町2-4-2 ☎06-6531-5300 FAX 06-6531-5417
名古屋営業所 〒460-0022 名古屋市中区金山1-9-15 ☎052-331-5222 FAX 052-331-5223

製品及び付属品については改良、改善のため予告なく内容を変更することがありますのでご容赦願います。

取扱説明書

DS53 ドリルスタンド

この度は、ドリルスタンド【DS53】をお買い求め頂き、誠に有り難うございます。本機を正しくお使い頂くために必ずこの取扱説明書と、ハンドピースの取扱説明書、それにパワーパックの取扱説明書も併せてお読みにになり、各機能を充分ご理解の上ご使用下さい。

なお、お読みにになった後もこの取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧下さい。

安全上のご注意

⚠ 警告 (人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。)

- 高さ調整するときは必ず両手で行なって下さい。アームユニットに重量があるためネジを緩めたときにユニットが落ちてケガをする恐れがあります。
- 作業中は、目の保護のために安全保護メガネを、粉じん対策のために防塵マスクを着用して下さい。切り粉や粉じんなどによって思わぬ傷害を負う恐れがあります。
- セットしたドリルやその他の工具の真下に手や指を持っていかないで下さい。
- センターツールを加工物に押し付け過ぎないで下さい。加工力が低下するばかりでなく、場合によっては刃物が欠けて飛び散り、思わぬケガをすることがあります。
- コレットチャックやセンターツールなどの回転体に触れないで下さい。

⚠ 注意 (人が傷害を負ったり、製品が故障する可能性がある内容を示しています。)

- 湿気が多い場所(風呂場など)、及び腐食性のガスや化学薬品の多い場所では使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。
- 結露の発生しない状態で使用して下さい。感電の原因となります。
- 気温・室温が 0° ~ 40° C の範囲で使用して下さい。
- 子供には操作させないように、又、子供の手の届かないところに保管してください。
- 物を当てたり、落下させるなどの強い衝撃を与えないで下さい。
- 取り付け・調整を行うときは必ず電源を切って、モーターとパワーパックの接続をはずして下さい。思わぬことでスイッチが入り、ケガをする場合があります。
- 仕事を離れる時は、必ず電源のスイッチを切って下さい。

1. 本機の特徴

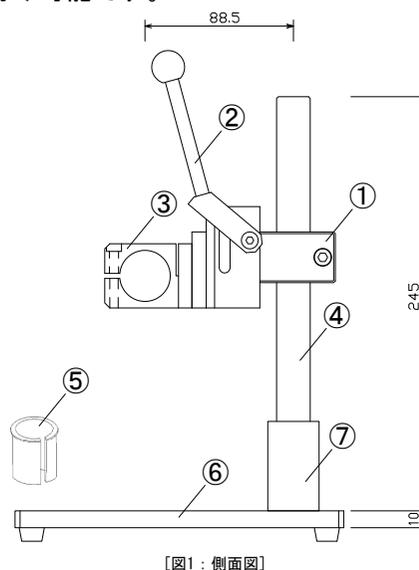
- ◇本機に弊社ハンドピースをセットすることで一定のストローク操作が可能になります。（手元スイッチは使用できません）
- ◇φ30.4径のハンドピースとφ26.4径のハンドピース（細径用カラー使用）が取り付け可能です。
- ◇ハンドピースは水平方向・垂直方向共に取り付け可能です。

2. 梱包リスト

- ◇DS53本体・・・・・・・・・・1PC.
- ◇細径用カラー・・・・・・・・・・1PC.
- ◇落とし止めカラー・・・・・・・・1PC.
- ◇ネジ（支柱固定用）・・・・・・・・1PC.
- ◇取扱説明書（本書）・・・・・・・・1PC.

3. 各部の名称

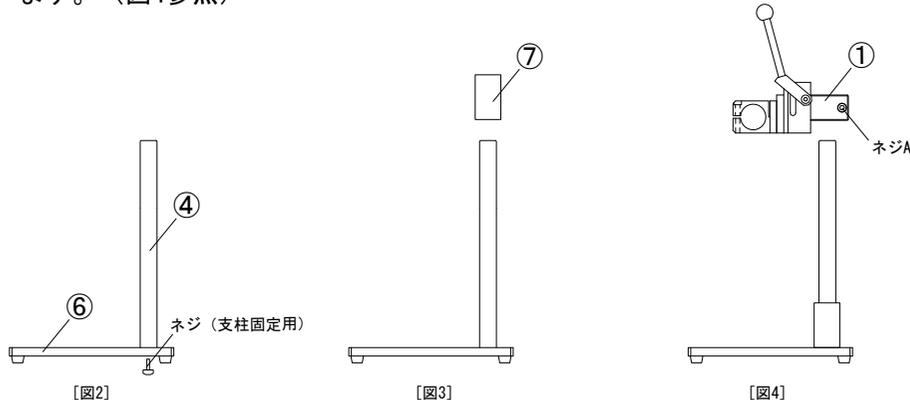
- ①高さ調整クランプ
- ②レバー
- ③クランプブロック
- ④支柱
- ⑤細径用カラー
- ⑥ベースプレート
- ⑦落とし止めカラー



4. 組立手順

開封した時は、支柱、ベースプレート、クランプブロックなどを組み立てる必要があります。下記の手順に従って組み立ててください。

- (1) 六角棒レンチ（6mm）を使用して、ベースプレートと支柱をネジ（支柱固定用）で固定します。（図2参照）
- (2) 支柱に落とし止めカラーを挿入します。（図3参照）
- (3) 高さ調整クランプを支柱に差し込み、任意の位置でネジAを締め付け、固定します。（図4参照）

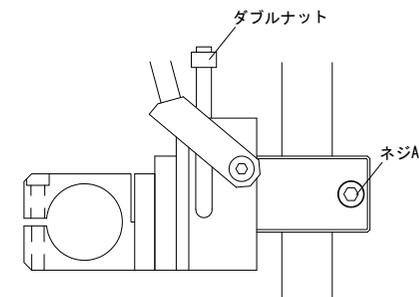


5. 取り付け・調整

5-1. 高さの調整

ネジAを六角棒レンチ（5mm）で緩めて高さを調整します。

注意：そのままネジAを緩めると高さ調整クランプが落ちますので、落ちないように手で支えながらネジAを緩めて下さい。

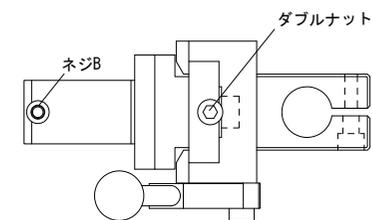


【図5：クランプ側面図】

5-2. ストロークの調整

レバーで動かせるストロークはダブルナットで制限できます。

ダブルナットの下側のナットで位置決めし、上側のナットを締めて固定します。



【図6：クランプ上面図】

5-3. ハンドピースの取り付け

φ26.4のハンドピースを取り付ける場合は、細径カラーを使用します。

細径カラーの要否一覧表（表1）で細径カラーの要否を確認し必要に応じて使用して下さい。

<ハンドピースの取り付け方法>

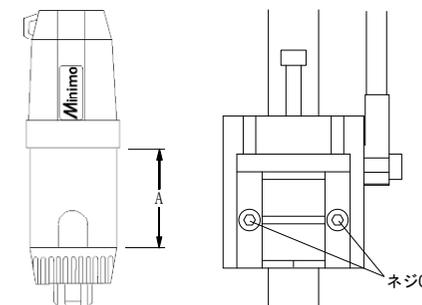
- (1) クランプブロックに細径カラーをはめます。（細径カラーを使用しない機種もあります）
- (2) 細径カラーを手で支えながらハンドピースを図7のAの位置まで差し込みます。
- (3) ネジBを六角棒レンチ（4mm）でモーターが抜け落ちない程度に締め付けます。（図6参照）

【表1：細径カラーの要否一覧表】

ワンシリーズ ver. 2	KV112H	KV212H	KM112H	KM212H	KV212	KM112	KM212	KM212L	KM112G
ワンシリーズ	KV11H	KV21H	KM11H	KM21H	KV21	KM11	KM21	KM21L	KM11G
細径カラー要否	要	否	要	否	否	要	否	否	要

5-4. アームの向き位置変更

- (1) ネジCを六角棒レンチ（4mm）で緩め、クランプブロックを取り外します。（図8参照）
- (2) ハンドピースを取り付けたい方向に合わせてクランプブロックの方向にして差し込みネジCを締め付けます。



【図7：モーター装着位置】

【図8：クランプ正面図】